

## 海外安全対策情報 平成29年度第2四半期

### 1. 社会・治安情勢

- (1) 不安定な電力事情や燃料の高騰で市民生活は困窮の度を高め、9月中旬以降、ボケ県（ボケ市、カムサール市、コブライ市等）では電力及び水供給不足に起因するデモ及び暴動で死傷者が出るなど治安が悪化しています。死傷者は出ていませんが、ボケ県及びその周辺では注意が必要です。
- (2) 8月21日、コナクリ市ダルエスサラーム地区で豪雨が発生し、ごみの埋め立て地の一部が崩落し、死傷者が発生しました。
- (3) 9月21日、コナクリ市ラトマ区では野党主催のデモ行進が行われた際、治安部隊の発砲により死者2名が出たことを受け、デモ参加者の一部が暴徒化し、治安部隊と衝突しました。
- (4) 7月から9月の間、麻しんの感染疑いが、230例発生し、検査などで64例が確定例として確認されたと発表しています。死亡例は0例です。ギニア保健省は今年3月、同国での麻しんの流行宣言を発出しています。

### 2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

7月～9月の間、日本人が被害に遭った事件は確認されておられません。一般犯罪発生状況は、従前と比較し改善していると言われてはいますが、政府車両を標的にした強盗や、裕福な家を狙った強盗事案がたびたび発生しています。

また、国境、県境周辺や幹線道路沿いでは、長距離タクシーや乗用車を狙った武装強盗による被害も治安機関により確認されています。

今後も、ご家族も含めて犯罪に巻き込まれないよう、行動には一層の注意を払うなど、自ら安全を守る心構えが必要です。防犯の心構えとして当館ホームページに掲載の【安全の手引き】をご覧ください、未然の防止に努めてください。

#### (1) 一般犯罪・凶悪犯罪事案

##### ○コナクリ市

9月21日、コナクリ市ラトマ区では野党主催のデモ行進が行われた際、治安部隊の発砲により死者2名が出たことを受け、デモ参加者の一部が暴徒化し、タイヤを燃やし幹線道路を占拠するなど、治安部隊と衝突しました。

##### ○ボケ県

9月中旬、ボケ市内で電力供給不足に不満を持った住民が暴徒化し、外国人の車両が放火される事件や商店やホテルの略奪事件が発生しました。また、憲兵隊駐屯地や与党RPG本部への襲撃事件も発生しています。（このデモによる死者2名、負傷者約40名）

また、9月19日には、カムサール市でも電力供給不足や水不足の改善を求めるデモ行進が行われています。

9月21日には、コブライ市でも、電力供給不足に抗議するデモが行われ、デ

モ隊は主要道路上にバリケードを作りました。それにより車両の通行が規制され、渋滞が発生し、大きな交通の乱れが生じました。

○ロラ県

8月29日、家畜窃盗犯が、住民によって捕まり、暴行を受け死亡しました。

○ンゼレコレ県

8月5日、14歳の少女がバイクタクシーの運転手によって強姦被害に遭いました。ンゼレコレ県以外でも強姦被害は発生しています。

8月9日、ンゼレコレ市でバイクタクシーの運転手が武装強盗に襲撃され、銃で殺害されました。

(2) 邦人被害事案

邦人被害事案は確認されていません。

(3) 在留外国人（邦人以外）の被害事案

在留外国人の被害事案は確認されていません。

3. テロ・爆弾事件発生状況

ギニア国内ではテロ・爆弾事件は発生していませんが、治安当局は昨今の西アフリカ諸国におけるテロ発生を受けて、主要なホテルや公共施設に治安部隊を配置し警戒に当たっています。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

ギニア国内では在留邦人、在留外国人の被害事案は確認されていません。

5. 対日感情

ギニア国民の対日感情は概ね良好です。

6. 日本企業の安全に関わる諸問題

ギニア国民の対日感情は概ね良好であることから、日本企業であることを理由に犯罪の標的になる可能性は低いと思われれます。

以上